

令和6年度 年間学習指導計画案

科目	スポーツB	単位数	2単位	学年・学科・コース	3年・普通科・スポーツコース
使用教科書	なし		副教材等	なし	

1. 学習の到達目標と評価の観点

学習の到達目標	スポーツの多様な推進及び発展に寄与するためには、対象者に応じたスポーツの指導法や参加者の経験や体力に応じた健康・安全の確保の仕方を理解できるようにする。
---------	--

評価の観点		
a. 知識・技能	b. 思考・判断・表現	c. 主体的に学習に取り組む態度
スポーツの多様な意義やスポーツの推進及び発展の仕方について理解するとともに、スポーツの推進及び発展に必要な技能を身につける。	スポーツの推進及び発展に必要な自他や社会の課題を発見し、思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。	生涯を通してスポーツの推進及び発展に寄与するための課題研究に主体的に取り組む態度を養う。

2. 学習計画及び評価規準、評価方法

月	学習項目	学習内容（ねらい）	評価の観点			評価規準	評価方法
			a	b	c		
4 5 6	五島長崎国際トライアスロン準備・運営ボランティア	・各ライフステージやライフスタイルによって技術の習得のみならず、健康の維持、仲間づくり、ストレスの発散など多様であることを理解する。	○			・大会運営について仕組みを理解することができる。 ・スポーツの推進方法を適切に理解し他者に伝えることができる。 ・大会準備、運営についての学習に主体的に取り組もうとしている。	授業態度
7 8 9	ニュースポーツ実習Ⅰ（フットサル）	・参加者の目的や年齢、経験、障害の有無等に応じた基本的な指導方法を理解する。	○			・競技方法を理解できる。 ・ルールや用具の工夫する点について考えることができる。 ・学習に主体的に取り組もうとしている。	
10 11	乗馬実習	・スポーツの参加目的は、発達段階やライフステージによって多様であることを理解する。	○			・競技方法を理解できる。 ・ルールや用具の工夫する点について考えることができる。 ・学習に主体的に取り組もうとしている。	
12 1	ゴルフ実習	・多世代や多目的に対応したスポーツへの参画がスポーツ推進及び発展するために有効な方法の1つであることを理解する。	○			・競技方法を理解できる。 ・ルールや用具の工夫する点について考えることができる。 ・学習に主体的に取り組もうとしている。	